

CDPキャピタルマーケット・セミナー はじめに

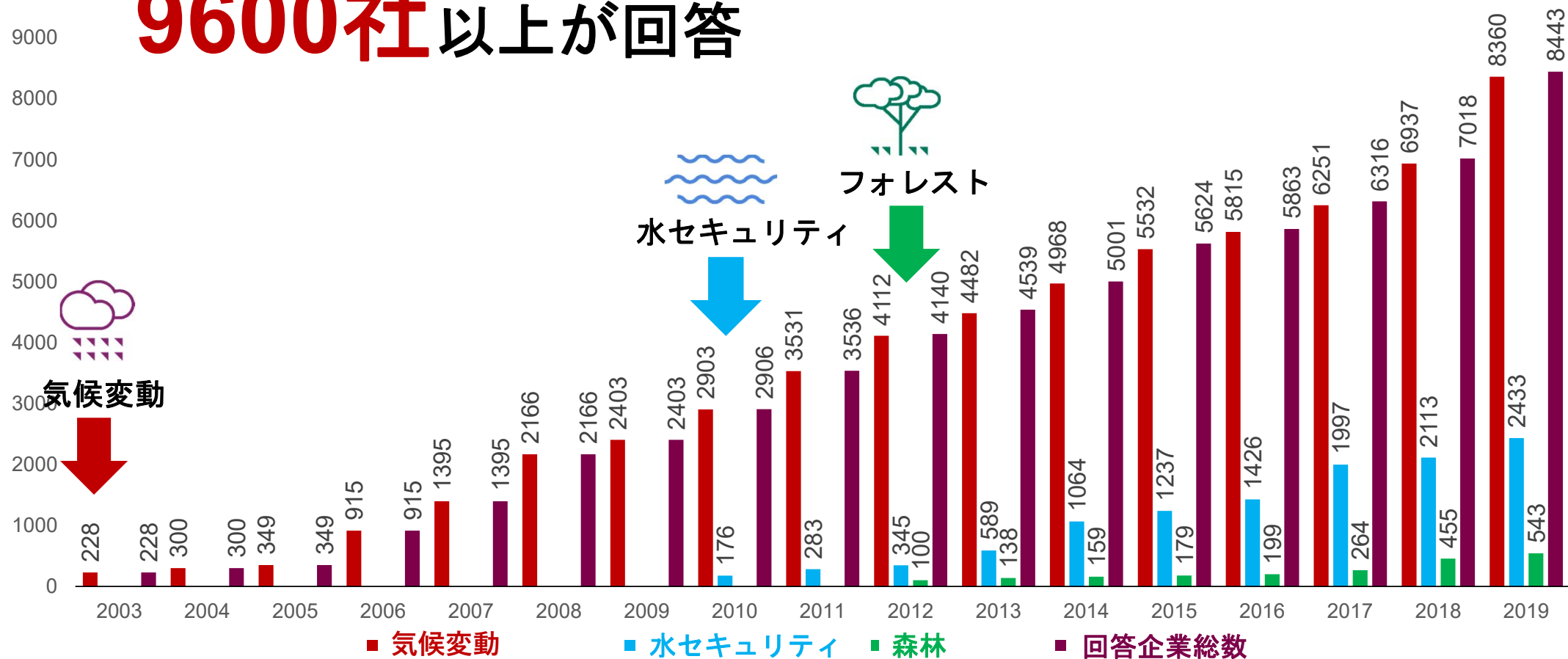
CDP Worldwide-Japan
榎堀 都



CDPを通じた情報開示：ESGのE開示のグローバルスタンダード



2020年は 9600社以上が回答



TCFDに準拠した開示



2017年TCFD勧告発表



2018年CDP質問書 – TCFD準拠



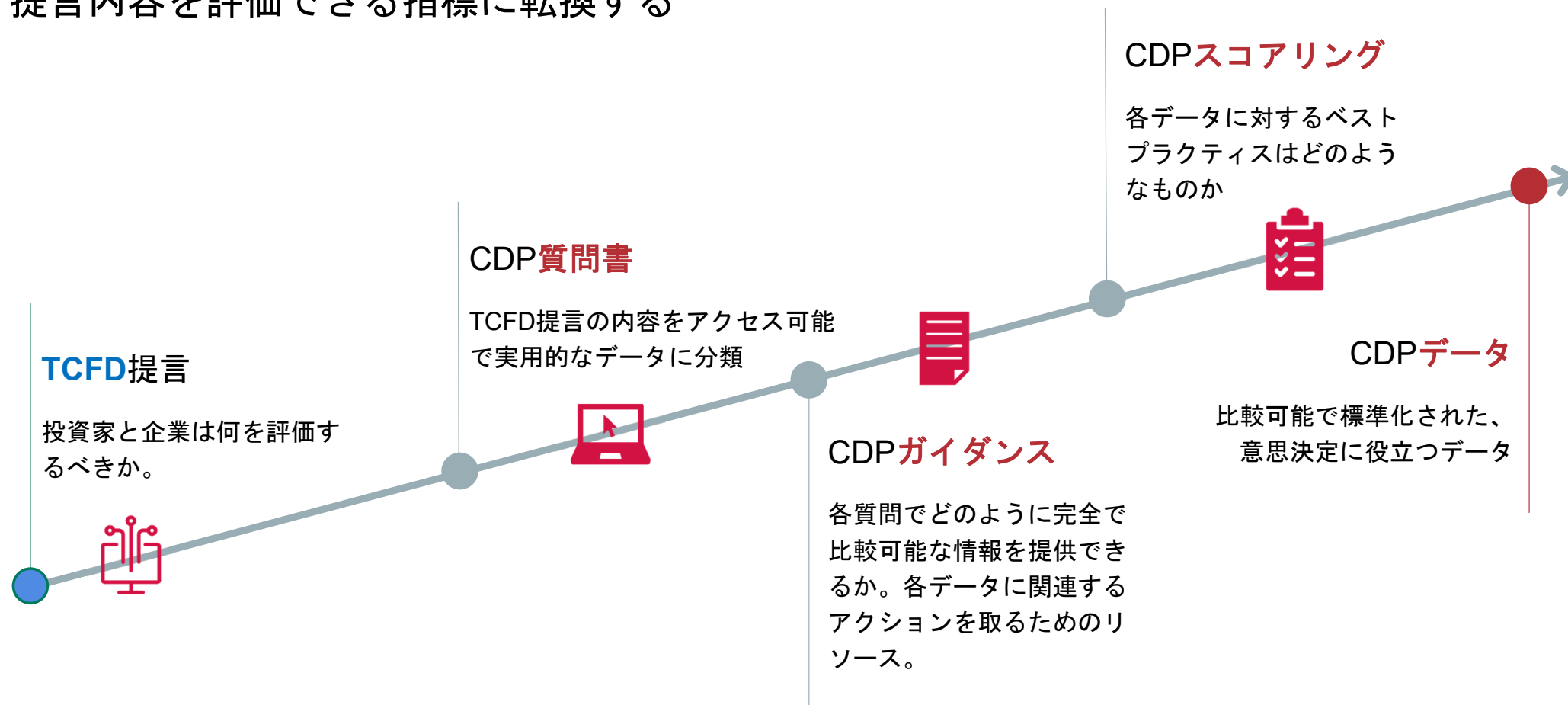
2020年CDP質問書 –すべてのセクターに対応し、TCFD準拠完了

【2020質問書のセクター別質問対象セクター】 ※ハイライトは2020年に新規設定

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鋳業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

CDP質問書

提言内容を評価できる指標に転換する



CDPの回答評価



情報開示 (D、D-)

- 現状の把握

認識 (C、C-)

- 環境リスクが自社にどのような影響をもたらすか

マネジメント (B、B-)

- 環境リスクやその影響をどのように管理しているか

リーダーシップ (A、A-)

- 環境リスクをどのように解決できるか

※無回答企業のスコアはF

Aリスト企業



気候変動

- Aリストとなる企業は、
- 1) スコープ1・2を70%以上検証を受け、削減活動によって削減率が4%以上
 - 2) 気候変動課題のガバナンス体制に取締役レベルで密に対応している
 - 3) パリ協定並みのスコープ1・2目標またはSBTを取得している
 - 4) 再エネを多く調達している

等



森林コモディティ

- Aリストとなる企業は、
- 1) バリューチェーンにおける森林減少リスクを考慮している
 - 2) 森林減少に繋がらないようなコモディティの生産／消費のための方針がある
 - 3) 持続可能な調達に向けて、コモディティのトレーサビリティ、生産／調達基準を設定
 - 4) 森林減少の様々なリスクやステークホルダーを網羅的に考慮している

等



水セキュリティ

- Aリストとなる企業は、
- 1) 直接操業とサプライチェーンにおける水リスクを漏れなく把握し、開示している。
 - 2) 水リスクにさらされているか、流域レベルで理解している
 - 3) 水関連の様々なリスクやステークホルダーを網羅的に考慮している

等

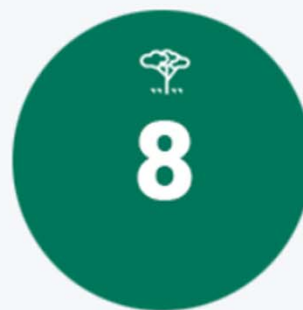
2019 Aリスト



気候変動



フォレスト



水セキュリティ



日本企業
世界一 **38**社

日本企業
1社

日本企業
23社

